

災害対策専門研修「図上訓練コース」開催結果

人と防災未来センターでは、大規模災害時における初動対応の要諦について実戦的に学習し、緊急対応期から応急対応期に向けた様々な課題への対応能力、意思決定能力を養うことを目的とした「図上訓練コース」を下記のとおり開催しました。

記

1 日 時

平成17年9月13日(火)～平成17年9月14日(水)

2 場 所

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
「防災未来館」5階プレゼンテーションルーム

3 受講者の所属

近畿地方を中心に北は山形県から南は熊本県まで全国各地から参加があった。

	兵庫県	近 畿 (兵庫県除)	北海道 東 北	関 東	中 部	中 国 四 国	九 州	総 計	団体数
府県		4			2	1	3	10	10
市町	9	7	1	1	9	3	1	31	31
特別区				1				1	1
総計	9	11	1	2	11	4	4	42	42

4 評価と課題

全国各地から定員を大幅に超える受講希望があり、地方自治体における「図上訓練」への関心の高さがうかがえた。

- ・研修に対する満足度の点数評価(100点満点)の平均点は83点であり、概ね高い評価を得た。
- ・受講者のレポートの記載内容から判断すると、演習を通して実際の災害対応についてイメージすることができ、図上訓練の有益性について認識できたものと推察できる。
- ・「訓練により災害対応時の課題が明確になった。」「災害対応そのものについて研修させていただくことができた。」との意見があった。
- ・「持ち帰って企画できるだけの知識を得た。状況付与の内容やタイミングについてイメージがわいた。」という意見があった一方、「統制班の役割や訓練全体の企画方法等、学ぶことが多く即企画するのは難しい」という意見があった。

- ・受講者同士の交流が図れた点について評価する声もあった。
- ・訓練だけでなく、宮城県、四日市市で行われた図上訓練の事例紹介の講義についても参考になったとの意見が多数あった。

コース概要は別添のとおり



図上訓練の風景



図上訓練の風景

カリキュラム

1日目（9月13日〔火〕）

10:00～10:45

1限：コース全体のオリエンテーション（コース概要説明、図上訓練概論など）

講師：秦康範 独立行政法人防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター 川崎ラボラトリー研究員（元 人と防災未来センター専任研究員）

10:50～12:20

2限：図上訓練の事例紹介（市、県の取り組み）

講師：山内豊 宮城県総務部危機対策課危機対策企画専門監
山本勝久 四日市市総務部防災対策課副参事兼課長補佐

13:30～14:40

3限：震災時における消防本部の初動対応

講師：石田秀欣 神戸市消防局警防係長

14:50～15:10

演習システムのセッティング（受講者も参加）

15:15～16:15

4限：展示施設見学

16:25～17:10

5限：図上訓練の現状と災害対応演習システムのオリエンテーション・解説

講師：坂本朗一 株式会社防災&情報研究所主幹研究員

内容：DIG や状況創出型訓練（ヴィジョンの設定等）などの解説

図上訓練のオリエンテーション

「災害対応演習システム」の解説、デモと体験

17:30～19:10

6限：図上訓練のための事前協議

講師：高梨成子 株式会社防災&情報研究所代表

坂本朗一 株式会社防災&情報研究所主幹研究員

2日目(9月14日〔水〕)

9:30～12:30

1限～2限：図上訓練の実施(発災～6時間後)

統制班：秦康範	独立行政法人防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター 川崎ラボラトリー研究員(元 人と防災未来センター専任研究員)
高梨成子	株式会社防災&情報研究所代表
坂本朗一	株式会社防災&情報研究所主幹研究員
中地弘幸	総務省消防庁防災課航空専門官
小坂真司	兵庫県災害対策局災害対策課課長補佐兼訓練係長
山本龍太郎	兵庫県災害対策局災害対策課事務吏員
井石雅康	兵庫県災害対策局災害対策課防災係主査
平山修久	人と防災未来センター専任研究員

13:45～17:00

3限～4限：図上訓練結果の評価及びディスカッション

講師：図上訓練の統制班